



# 令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-3 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	3 目		
事業名称	事務所等運営費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	331,381	0	0	7,547	0	323,834
補助事業 単独事業						0
令和3年度	326,179			8,147		318,032
増△減	5,202	0	0	△ 600	0	5,802

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	375,770	331,015	321,458	328,613	328,613	328,613
	市債+一般財源	366,557	322,835	313,303	320,468	320,468	320,468
決算	事業費	346,582	331,489	319,159			
	市債+一般財源	341,079	327,800	314,967			

事業概要	横浜市におけるごみの収集及び分別啓発の拠点となる施設の管理運営を行い、ごみと資源物の収集作業を支え、3R夢プランの推進と清潔な市民生活の実現への寄与を目指します。							
事業開始年度	大正7年							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 H22年7月方針決裁							
事業目的・効果 (必要性)	横浜市におけるごみの収集及び分別啓発の拠点となる資源循環局事務所(各区1か所)や利用廃止施設等の設備維持管理経費、事務所事務経費及び会計年度任用職員関係経費を執行し、円滑な事務所運営及び利用廃止施設の維持管理を行うことを目的とします。 ※平成26年度よりリサイクル施設整理事業を本事業に統合しました。平成22年7月の経営会議にて、横浜市リサイクル施設(4館)を廃止・休止する方針が決裁され、利用廃止後の施設の維持管理については本事業で行うこととしています。							
根拠・データ等	ごみと資源の収集量(左:燃やすごみ、中:缶・びん・ペットボトル、右:プラスチック製容器包装)[t] H28: 552,527.74、54,945.32、51,342.67 H29: 548,497.63、54,554.62、51,280.20 H30: 541,798.77、53,934.32、51,335.11 R01: 551,893.76、53,754.97、52,092.19 R02: 566,581.79、57,964.54、54,757.31							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
施設機能の維持	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	-	実績	達成	達成				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正7年度: 事業開始(各戸に備えられたごみ箱から収集)</li> <li>昭和35年度: ごみ箱を無くして設置した集積場所から収集する定時制収集制度を一部試験実施(昭和45年に全市実施)</li> <li>平成7年度: 泉事務所開設</li> <li>平成13年度: 青葉事務所開設</li> <li>平成17年度: 港北事務所移転</li> <li>平成18年度: 金沢事務所移転</li> <li>平成22年度: リサイクルプラザ・リサイクルコミュニティセンター廃止</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	繁忙等対策事業	15,077	15,103	▲ 26	期末・勤勉手当の支給割合の変更による減
②	事務所等運営事業	316,304	311,076	5,228	燃料費の増	
細事業合計		331,381	326,179	5,202		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営係
	澤田 亮仁	博多 雄一郎	大久保 正雄

# 令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-3 2
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	3 目		
事業名称	事務所等整備補修費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	48,217	0	0	22,000	0	26,217
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	42,824	0	0	22,000	0	20,824
増△減	5,393	0	0	0	0	5,393

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	139,398	45,304	45,304
市債+一般財源	117,398	23,304	23,304
事業費	146,267	40,710	38,657
市債+一般財源	124,267	18,710	16,657

令和5年度	令和6年度	令和7年度
48,217	48,217	48,217
26,217	26,217	26,217

事業概要	横浜市におけるごみの収集及び分別啓発の拠点となる収集事務所等の劣化状況を調査し、その結果に基づき、必要な工事を実施します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市資源循環局事務所処務規程							
事業目的・効果 (必要性)	経年劣化の激しい収集事務所等の補修工事を行い、機能維持及び円滑な事業運営を図ることを目的とします。 また、施設の長寿命化や不要となった施設の解体等を進めることで、施設の規模及び配置の適正化を図ります。							
根拠・データ等	ごみと資源の収集量 (左：燃やすごみ、中：缶・びん・ペットボトル、右：プラスチック製容器包装) [t] H28：552,527.74、54,945.32、51,342.67 H29：548,497.63、54,554.62、51,280.20 H30：541,798.77、53,934.32、51,335.11 R01：551,893.76、53,754.97、52,092.19 R02：566,581.79、57,964.54、54,757.31							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
施設機能の維持	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	—	実績	達成	達成				
事業スケジュール	令和2年度：港北事務所屋上防水改修工事、南事務所引込ケーブル等改修工事、鶴見事務所給排水管等更新工事、南事務所受水槽更新工事 令和3年度：金沢事務所屋上防水改修工事、港北事務所外壁・内壁改修工事及び躯体の点検、北部事務所受電用引込ケーブル更新工事、都筑事務所空調設備更新工事 令和4年度：金沢事務所玄関及び脱靴室引戸の改修工事、磯子職員住宅外壁保全工事、戸塚事務所衛生設備改修工事、緑事務所衛生設備改修工事、鶴見事務所衛生設備改修工事							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	事務所等整備補修費	48,217	42,824	5,393	補修計画に伴う増
細事業合計		48,217	42,824	5,393		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営
	澤田 亮仁	博多 雄一郎	大久保 正雄

# 令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-3 3
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	3 目		
事業名称	港南事務所再整備事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県		市債	一般財源
令和4年度	350,276	0	0		322,000	28,276
補助事業	0					0
単独事業	350,276				322,000	28,276
令和3年度	487,900	0	0		486,000	1,900
増△減	△ 137,624	0	0	0	△ 164,000	26,376

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	0	0	109,000
市債+一般財源	0	0	109,000
決算	0	0	105,921
市債+一般財源	0	0	105,921

令和5年度	令和6年度	令和7年度
0	0	0
0	0	0

事業概要	旧港南工場敷地内に所在する資源循環局港南事務所を、旧港南リサイクルプラザ及び旧港南資源回収センター敷地に移転します。							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、R元8月資産活用推進会議							
事業目的・効果 (必要性)	港南事務所が所在する旧資源循環局港南工場敷地が済生会横浜南部病院の移転先に決定したため、敷地の一部を使用している港南事務所を病院に先んじて移転し、横浜市南部病院の移転計画を円滑に進行させることを目的とします。							
根拠・データ等	ごみと資源の収集量 (左：燃やすごみ、中：缶・びん・ペットボトル、右：プラスチック製容器包装) [t] H28：552,527.74、54,945.32、51,342.67 H29：548,497.63、54,554.62、51,280.20 H30：541,798.77、53,934.32、51,335.11 R01：551,893.76、53,754.97、52,092.19 R02：566,581.79、57,964.54、54,757.31							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
移転計画の円滑な進行	単位	目標	-	実施	実施	実施	-	-
	-	実績	-	達成				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度：新港南事務所実施設計、旧施設解体設計・解体工事</li> <li>令和3年度：新港南事務所建設工事着工（8月）</li> <li>令和4年度：新港南事務所建設工事竣工（9月）、港南事務所移転・供用開始（11月）</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	港南事務所再整備事業	350,276	487,900	▲ 137,624	事業進捗に伴う減
細事業合計		350,276	487,900	▲ 137,624		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営係
	澤田 亮仁	博多 雄一郎	小林 龍太